



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fuiitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長

(氏名) 加藤 義一

TEL 0749-30-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	85,680	11.7	6,867	86.8	7,420	93.4	4,182	159.5
24年3月期第3四半期	76,717	0.4	3,676	△8.3	3,836	△7.2	1,611	△26.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 9,657百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 409百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	44.70	—
24年3月期第3四半期	17.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	120,000	75,890	58.3
24年3月期	107,213	67,915	58.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 69,903百万円 24年3月期 63,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	118,000	12.3	9,000	67.8	9,500	63.8	5,300	103.3	56.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しています。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	93,767,317 株	24年3月期	93,767,317 株
25年3月期3Q	200,773 株	24年3月期	198,039 株
25年3月期3Q	93,568,439 株	24年3月期3Q	93,571,712 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了し、平成25年2月7日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期 連結累計期間 (2011年4月1日～ 2011年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (2012年4月1日～ 2012年12月31日)	前年同四半期比(%)
売上高	76,717	85,680	11.7
国 内	34,571	35,631	3.1
海 外	42,145	50,049	18.8
営業利益	3,676	6,867	86.8
経常利益	3,836	7,420	93.4
四半期純利益	1,611	4,182	159.5
1株当たり四半期純利益	17.22円	44.70円	—

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、アジア地域では、景気が減速傾向にありましたが、秋以降持ち直しの動きが見られました。米国では緩やかな回復が継続しましたが、欧州の景気は低調に推移しました。日本経済は、震災復興需要が下支えする一方で、海外経済の減速などが影響し、景気回復の動きは弱いものとなりました。

昇降機業界におきましては、中国を始めとするアジア地域および北米では、総じて堅調な需要が続きましたが、欧州の需要は低調に推移しました。日本では、首都圏や近畿圏でマンション着工が増加するなど、回復基調となりました。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における国内市場では、モダンゼーション事業で、既設エレベータの快適性・安全性を高める「制御盤交換パッケージ」の販売が順調に拡大するとともに、国庫補助金の対象となる「安全向上パッケージ」の拡販に努めています。また、既設エスカレータのトラス内に省スペース型「スリムフィット」をトラスごと収める「フィット in トラス工法」の採用により、短工期、低コストを実現したリニューアル商品を販売開始しました。新設事業では、共同住宅向けに標準型エレベータ「エクシオール」の受注が伸長しました。以上の結果、国内受注高は402億78百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

海外市場においては、南アジア、東アジアでの新設工事の増加により、海外受注高は539億86百万円（同19.3%増）となりました。

以上の結果、受注高合計は、942億64百万円（同17.7%増）となりました。

売上高は、国内売上高356億31百万円（前年同四半期比3.1%増）、海外売上高500億49百万円（同18.8%増）となり、計856億80百万円（同11.7%増）となりました。

受注残高は、国内では、モダンゼーション工事やエレベータ新設工事の増加により、391億1百万円（前連結会計年度末比13.7%増）となり、海外では、南アジアや中国を始めとする東アジアでの増加により、677億28百万円（同6.5%増）となりました。この結果、受注残高合計は、1,068億29百万円（同9.0%増）となりました。

損益面では、日本や東アジアでの増益に加え、北米での損益改善により、営業利益は68億67百万円（前年同四半期比86.8%増）、経常利益は74億20百万円（同93.4%増）となりました。特別損益の純額は、投資有価証券評価損などで、73百万円の損失となり、税金等調整前四半期純利益は73億46百万円（同93.1%増）となりました。税金費用が前年同四半期比6億71百万円増加し、四半期純利益は41億82百万円（前年同四半期比159.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半 期比(%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	36,715	37,866	3.1	741	2,495	1,754
北 米	7,465	8,678	16.3	△460	128	588
欧 州	440	275	△37.6	△4	△9	△4
南アジア	7,360	7,827	6.3	1,247	1,126	△120
東アジア	28,909	35,628	23.2	2,159	3,145	985
小 計	80,891	90,276	11.6	3,682	6,886	3,203
調 整 額	△4,174	△4,595	—	△5	△19	△13
合 計	76,717	85,680	11.7	3,676	6,867	3,190

(日 本)

売上高は、新設工事およびモダニゼーション工事の増加により、378億66百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。営業利益は、売上高の増加に加え、原価低減により、24億95百万円（同17億54百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、主に新設工事の増加により、86億78百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。営業利益は、新設工事の採算改善などで、1億28百万円（前年同四半期 営業損失4億60百万円）となりました。

(欧 州)

売上高は、エスカレータ販売の減少により、2億75百万円（前年同四半期比37.6%減）、営業損益は、9百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失4百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、共同住宅局向け新設工事の増加により、78億27百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。営業利益は、新設工事の原価増などで、11億26百万円（同1億20百万円減）となりました。

(東アジア)

売上高は、中国を中心とする新設工事が大幅に増加し、356億28百万円（前年同四半期比23.2%増）となり、営業利益は、売上高の増加および原価低減が寄与し、31億45百万円（同9億85百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、1,200億円となり、前連結会計年度末に比べ127億87百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ48億11百万円増加し、441億9百万円となりました。これは主に、短期借入金、賞与引当金が減少した一方、支払手形及び買掛金、前受金が増加したことによります。

純資産額は、758億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ79億75百万円増加しました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによります。また、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は58.3%（前連結会計年度末比0.6ポイント減）となり、1株当たり純資産額は747.10円（同72.32円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2013年3月期(2012年4月1日～2013年3月31日)の連結業績予想につきましては、2012年5月11日に公表した予想を下記のとおり修正いたしました。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	115,000	7,500	7,700	4,300
今回修正予想(B)	118,000	9,000	9,500	5,300
増減額(B-A)	3,000	1,500	1,800	1,000
増減率(%)	2.6	20.0	23.4	23.3
(ご参考)前期実績 (2012年3月期)	105,061	5,363	5,799	2,607

(修正の理由)

売上高は、中国での新設工事の増加などで、1,180億円を見込んでいます。営業利益は、日本および中国での原価低減により、90億円を予想しています。これに伴い、経常利益および当期純利益についても、上記の通り修正いたします。

通期の業績予想につきましては、本日(2013年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(通期の業績見通しの前提条件)

前述の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績見通しに当たり、通期の平均為替レートは1米ドル79円を前提としています。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、2012年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,150	30,673
受取手形及び売掛金	25,457	30,056
商品及び製品	2,704	3,340
仕掛品	2,640	4,236
原材料及び貯蔵品	5,844	6,170
その他	4,191	4,429
貸倒引当金	△557	△846
流動資産合計	65,431	78,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,774	17,722
機械装置及び運搬具(純額)	2,164	2,201
工具、器具及び備品(純額)	1,375	1,500
土地	6,807	6,841
リース資産(純額)	8	5
建設仮勘定	465	484
有形固定資産合計	28,594	28,756
無形固定資産		
のれん	694	695
その他	1,811	2,413
無形固定資産合計	2,506	3,108
投資その他の資産		
投資有価証券	4,281	4,184
長期貸付金	1,916	1,916
その他	4,628	4,112
貸倒引当金	△145	△138
投資その他の資産合計	10,681	10,074
固定資産合計	41,782	41,939
資産合計	107,213	120,000

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2012年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,567	14,807
短期借入金	1,832	503
1年内返済予定の長期借入金	11	253
未払法人税等	669	775
賞与引当金	1,710	1,178
工事損失引当金	2,900	2,899
その他の引当金	473	285
前受金	9,607	12,772
その他	4,629	5,241
流動負債合計	33,401	38,717
固定負債		
長期借入金	1,500	1,270
退職給付引当金	4,122	3,841
その他	273	280
固定負債合計	5,896	5,392
負債合計	39,298	44,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,565
利益剰余金	57,228	60,194
自己株式	△130	△132
株主資本合計	84,197	87,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	421
為替換算調整勘定	△21,514	△17,679
その他の包括利益累計額合計	△21,058	△17,258
少数株主持分	4,777	5,987
純資産合計	67,915	75,890
負債純資産合計	107,213	120,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年12月31日)
売上高	76,717	85,680
売上原価	61,532	66,094
売上総利益	15,184	19,586
販売費及び一般管理費	11,508	12,719
営業利益	3,676	6,867
営業外収益		
受取利息	209	294
受取配当金	119	106
為替差益	—	99
その他	138	151
営業外収益合計	468	651
営業外費用		
支払利息	66	47
為替差損	139	—
その他	102	51
営業外費用合計	308	98
経常利益	3,836	7,420
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	18	0
受取和解金	150	—
特別利益合計	169	1
特別損失		
固定資産除売却損	56	31
減損損失	14	—
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券評価損	123	43
特別損失合計	202	75
税金等調整前四半期純利益	3,803	7,346
法人税、住民税及び事業税	931	1,223
法人税等調整額	554	933
法人税等合計	1,485	2,156
少数株主損益調整前四半期純利益	2,318	5,189
少数株主利益	706	1,007
四半期純利益	1,611	4,182

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,318	5,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△175	△33
為替換算調整勘定	△1,733	4,502
その他の包括利益合計	△1,909	4,468
四半期包括利益	409	9,657
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△124	7,982
少数株主に係る四半期包括利益	533	1,675

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	34,617	7,446	436	7,359	26,857	76,717	—	76,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,097	18	4	1	2,052	4,174	△4,174	—
計	36,715	7,465	440	7,360	28,909	80,891	△4,174	76,717
セグメント利益又は 損失(△)	741	△460	△4	1,247	2,159	3,682	△5	3,676

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去9百万円およびたな卸資産の調整額△15百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	35,679	8,667	270	7,826	33,237	85,680	—	85,680
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,187	11	4	1	2,391	4,595	△4,595	—
計	37,866	8,678	275	7,827	35,628	90,276	△4,595	85,680
セグメント利益又は 損失(△)	2,495	128	△9	1,126	3,145	6,886	△19	6,867

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△19百万円には、セグメント間取引消去△1百万円およびたな卸資産の調整額△17百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)
該当事項はありません。